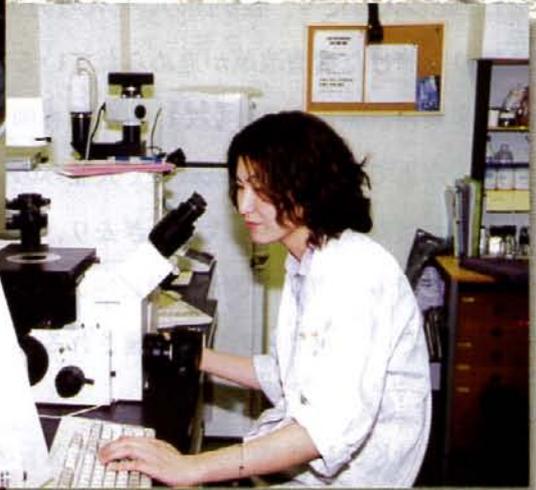




# 有明高専だより

第104号  
2001.6



校長だより	2
専攻科スタート	3
新任教職員紹介	4
退職教官より	5
新留学生紹介、留学生歓迎会	6
新入生オリエンテーション	7
4年生研修旅行記	8
混合学級になって	10

## 目次

新入生歓迎行事	11
キャンパスクリーンデー	11
春季球技大会	11
岱明寮だより	12
卒業式 送辞・答辞	13
卒業生の進路・表彰	14
学生表彰(1年間皆勤・精勤)等	15
トピックス・編集後記	16

※本文中において、学生氏名の前にある英数字は、所属クラスを表します。

数字は学年、英字は学科 (M:機械工学科、E:電気工学科、I:電子情報工学科、C:物質工学科、A:建築学科) です。

# 校長だより



## 頭脳のトレーニング

校長 山藤 馨

21世紀に入った今、我が国のいろんな方面で、生き残りを賭けた構造改革が進められている。君たちが卒業後就職しようとしている企業も例外ではない。今までのように、就職して人並みの仕事をしていれば安泰という時代は過ぎ去り、個人の能力が今まで以上に重視され、自己能力の啓発・向上の努力とその成果が厳しく評価されるようになってきている。

最近、NHKテレビで「プロジェクトX」という番組が放映され、本にもなっているが、今までになかった新しいものを作り上げていくには、柔軟な発想と、それを具現化していく飽くなき執念と努力を必要とすることが、よくわかる。このような世界は、君たちにとっても遠い世界ではない。もっと規模が小さく、地味かも知れないが、君たちも、いずれは、似たような状況におかれ、解決を迫られることになるだろう。

そのような将来の状況に備えるために、今、君たちがすべきことは、まず、身体と頭脳のトレーニングであろう。それは、いつの時代でも必要だが、今は、その重要性が格段に増してきている時代だといえる。

トレーニングは楽なものではない。誰でもできるだけ楽をしたいに決まっているから、自分自身でその必要性と意義を強く認識し、強靱な意志を持って取り組まないと、途中で挫折してしまうことになる。他人から言われて嫌々やるようでは、

成果が上がるわけがない。

そこで、今日は、君たちが、頭脳のトレーニングに取り組む意義を自分自身で見つけるのにヒントになるかも知れない話を届けよう。

今までは、人間の脳細胞は、20歳くらいまでに作られ、その後は増えないというのが定説であったが、最近のネイチャー誌に載った論文によって、この定説はうち破られた。

ある脳医学の研究者、それは女性の研究者なのだが、ロンドンのタクシー・ドライバーの脳を調べたところ、脳細胞の数が、普通の人達よりも明らかに多かったのだそうです。ロンドンの道路の複雑さは世界でも有数なので、彼らはそれを覚え込む必要があり、脳細胞の数が増えたのだらうと言うのです。

試験の前に一夜づけで覚えたことは、試験が終わったら、けろっと忘れてしまうよね。それは、毎日、何度も反復しながら覚え込んだ道路のような詳細な情報と、記憶する部位が違うからなのです。人間の脳だって、必要に迫られなければ脳細胞を増やしたりしないよね。

毎日、毎日の勉強の積み重ねが重要なのです。一日当たりの予習・復習時間が一時間以内というのでは、脳細胞の数も増えっこないよね。

毎日勉強するのは、単位を取るためだけでなく、脳細胞の数を増やして将来の厳しい競争を勝ち抜くためのトレーニングでもあるのですよ。

# 専攻科 スタート!

## 専攻科発足にあたって

専攻科長 田口 紘一



本年4月、本校に専攻科が設置され、第1期生25名が入学し、勉学に励んでいます。

専攻科は、高専5年間の教育課程の上に、さらに高度な専門知識や技術を教授する2年生の課程です。専攻科の課程を修了すると大学評価・学位授与機構の審査を受けて、大学と同じ「学士」の学位を取得できます。

本校の専攻科は相互に関連の深い機械工学、電気工学と電子・情報工学からなる「生産情報システム工学専攻」、物質工学と生物工学に関する「応用物質工学専攻」および建築学に関する「建築学専攻」の3コースを設けています。

本校の専攻科は、21世紀の高度科学技術時代、高度情報化時代を担い得る創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者

の育成を行うことを目指しています。授業形態は大学と同じですが、少人数教育、特別研究

をはじめ実験や設計演習等実技を伴う授業の充実、高専の授業から継続した講義内容、慣れた環境、授業料等の経済性等、大学編入とは異なった特色があります。今後技術者に求められる資質は単に知識や技術の習得ではなく、自ら問題を発見し解決する能力を身につけていることです。そのためのカリキュラムを組んでいます。

高専5年間の課程を卒業後、就職、大学編入さらに専攻科進学と選択肢が増えました。各人の将来の目標や計画に従って進路を選択して下さい。

### 生産情報システム工学専攻 (定員12名/学年)

現代の工業生産において相互に強く関連し合う機械工学、電気工学、電子情報工学の3分野からなる複合された専攻で、情報化された生産システムを主テーマに学生各人が学習目的を明確にし、必要な学識の習得と共同研究、実験により幅広い創造力を身につけさせる教育を行い、学際的、総合的な課題解決能力の習得を目指します。

### 応用物質工学専攻 (定員4名/学年)

本専攻科では、5年間の教育課程で習得した基礎学力を基盤として、マテリアルサイエンスやバイオテクノロジーの進展に対応しうる高度な知識と技術を有する技術者を育成します。また、学際的な技術分野の理解を深めるため、幅広い専門的知識を教授し、高い独創力や解析力をもつ化学技術者の人材育成を目指します。

### 建築学専攻 (定員4名/学年)

高専の5年間の課程で習得した実践的技術力を基礎に、志望した計画・環境系あるいは構造・生産系のいずれかの領域に重点をおいて高度な実践技術を修得させるとともに、研究活動を中心に設計コンペ応募、企業研修等で論理的思考能力、実践的技術センスなどを修得させ、創造性に優れ、かつ、専門的能力が高い建築技術者の育成を目指します。

# 新任教職員紹介

本年度、新たに教官1名、職員3名の方が赴任されました。  
そこで右の4つのことをお聞きしました。

- Q1. 本校に来る前は
- Q2. 本校あるいは本校学生の印象について
- Q3. 趣味は
- Q4. 抱負を一言



たかまつ りゅうじ  
電気工学科 高松 竜二 先生

A1. 今年の3月まで、九州大学大学院システム情報科学研究科（電子デバイス専攻）の修士課程の学生でした。

大学院では、味物質の分離・同定技術の開発に関する研究を行っていました。今後は、引き続きその研究を行うことと、味覚センサを用いた研究を行うつもりです。

A2. 高校とも大学とも違う雰囲気で、なにか不思議な感じがしましたが、いい雰囲気の学校だと思います。

A3. スポーツをするのは大好きです（下手ですけど）。あとは、インターネットや読書といったところでしょうか。興味をもったものは、何でもやってみたいと思っています。

A4. 今までとは逆の立場で、初めてのことばかりなので、学生や他の教官の方々にはいろいろご迷惑をかけると思いますが、一生懸命がんばりたいと思います。研究の方もがんばっていききたいと思います。



かみかわ いさむ  
上川 勇 会計課長

A1. 広島大学からまいりました。経理部管財課において、国有財産管理事務・跡地処分等事務に携わっていました。

また、広島大学勤務以前は、呉市にある呉工業高等専門学校に勤務していました。

A2. 構内で学生さんから「おはようございます」と挨拶されて、礼儀正しい学校との印象を第一に受けています。

A3. 呉高専のときにはテニスをしていましたが、最近あまり親しんでいないので、できる時間がとればよいと思っています。その他にも釣り等もできればよいと思っています。

A4. 国の会計は今後ますます厳しくなることが予想されますが、有明高専の教育・研究のため少しでも役立つことができるよう頑張ろうと考えていますので、よろしく願います。



はまだ えいじ  
濱田 英治 人事係長

A1. 九州大学歯学部人事掛に勤務しておりました。

A2. 以前よりロボコン等をよく見ておりましたので、高専生はアイデアに富みすばらしい技術を持っているなど感心しておりました。機会があれば、製作の様子を見学できればいいなどと考えております。

A3. 以前はいろいろスポーツ等に興じておりましたが、体が言うことを聞かず今はもっぱら福岡ダイエーホークス観戦です。

A4. 少しでも本校のお役に立てるよう努力していきたいと思っています。



たなか ゆきこ  
田中由紀子 図書係長

A1. 九州大学経済学部図書掛に勤務しておりました。

A2. 豊かな自然と教育熱心な先生方のもとで、学生さんは明るくのびのびと活動しているなど思いました。

A3. 読書と絵画鑑賞です。書店と平日の静かな美術館に行くと幸せを感じます。

A4. 皆さんのお役にたてるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしく願います。

# 退職教員より

平成13年3月をもって、退職された2名の先生に次の3点について述べていただきました。

電気工学科

中川 忠昭 先生



## 高専で思い出に残ること

電気工学科の3年、4年、5年の担任をさせていただいたこと。また教務主事補として広報の仕事させていただいたこと。夏期実習ではNHK、民放と交渉し延べ約70名の学生が放送現場を経験し、一部の学生が就職につながったこと。就職活動では、NHKに6名、NHKアイテックに1名、NHKテクニカルサービスに1名就職できたこと。そして就職された皆さんがそれぞれの職場で活躍され期待されていると聞き、嬉しく良かったと思っています。

## 高専あるいは学生に望むこと

元氣溢れる学生の皆さん！いま体を鍛え、基礎学力をしっかり身に付けて、将来社会に貢献されることを期待しています。

## 今後のことについて

熊本工業専門学校で非常勤講師として電子回路を教えています。母親が要介護度3で車椅子の生活となりましたので、介護のため古い家をバリアフリーにするための工事をしています。日曜大工を楽しんでいます。ビデオ撮影も楽しみながら玉名の出来事を記録したいと思っています。

最後に有明高専の皆様のご健康と益々のご活躍ご発展をお祈り致します。

物質工学科

笹木 昭弘 先生



## 高専で思い出に残ること

本校に着任したのは、平成6年4月。最後の工業化学科の学生を副担任としてお世話させていただきました。そのときの学生には、授業の不手際があったにもかかわらず、真剣に聞いてくれて、大変有り難く思いました。今でも、最初の授業のことは、はっきりと覚えています。

また、有明高専の学生は、どの学科の学生もそうなのですが、体育祭・高専祭・球技大会などの行事に関しては、一生懸命がんばっており、そんな姿を見てうらやましく思いました。7年間、勤務させていただいたのですが、有明高専の学生の方から、多くのことを学んだことが一番の思い出です。

## 高専あるいは学生に望むこと

1～3年生では、基礎的な知識を一つでも多く得てください。4・5年生では、低学年で得た数多くの知識の一つ一つを関連させて、いろいろな方向から物事を考えて欲しいと思います。それと、「だめだ・無理だ・できない」というマイナス思考にはならず、「やれる・できる・大丈夫」のプラス思考で、がんばってください。

## 今後のことについて

今後は、自分のやりたかったことの実現のために、様々なことを勉強したいと思います。

最後に突然の方向転換で多くの方々にご迷惑をおかけしましたが、ご理解いただいた学校に心から感謝の意を表するとともに、教職員の皆様と学生諸君のご健勝と益々のご発展をお祈り申し上げます。

## 新留学生紹介

電子情報工学科3年 フン  
(LE PHUONG THUY)

今春、新たに1名の留学生がやってきました。  
ベトナムの紹介をしてもらいました。



私はベトナムのちょうど真中にある古都、フエから来ました。紀元前から中国の影響を受け、4千年の歴史を持つと言われるベトナムについて、一番世界の人々に印象が深いのはアメリカとの戦争だと思います。けれども今のベトナムは平和の中にあります。

ベトナムは中国の南側にあります。西の方はラオスやカンボジアと国境を接しています。国土の半分は海に面していますので、豊富な海産物があります。しかし、お寿司や刺身などを食べる習慣はありません。また、熱帯地方なので果物がたくさんできます。例えば、ミカン、バナナ、マンゴー、ココナッツなどがあります。ベトナムの料理は日本の料理に少し似てい

ます。チャーハンやラーメンなどもありますが、味は異なっています。私たちも箸で主食のご飯を食べます。

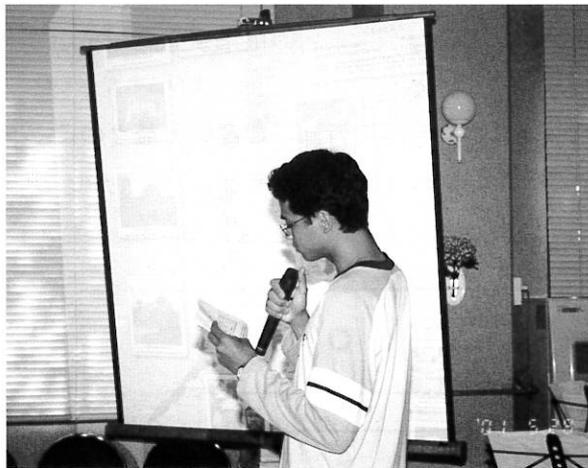
ベトナムについて話すとき、忘れてはならないものは美しい伝統的な服装である“アオザイ”です。皆さんも一度見たことがあると思います。私たち、特に女性はアオザイを誇りとしています。

私は母国を離れて1年以上になりました。1年間東京に住んで他の留学生たちと一緒に日本語の勉強をしてきました。今、有明高専の学生として勉強しています。技術や知識を学ぶだけでなく、日本の生活にも慣れるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

## 留学生歓迎会

今年、ベトナムからレー・フン・トゥイさんが電子情報工学科3年に、新しい留学生としてやってきました。フンさんの歓迎と関係教職員、学生の親睦をかねて、5月28日(月)に、本校修己館において「新入留学生歓迎会」が催されました。新入留学生のスピーチ、在校留学生の母国紹介、吹奏楽部の演奏会、学生会による近郊の名所案内などがあり、参加者一同楽しいひとときを過ごすことができました。

(教務主事補 永守 知見)



# 新入生オリエンテーション

5月7日～5月9日  
阿蘇青年の家

## 阿蘇青年の家での3日間

物質工学科1年 中村 仁美

青年の家での3日間、私達は団体行動の規律やマナーを学び、友人との会話で充実した日々が送れました。

何よりも一番心に残っているのは、オリエンテーリングです。班員みんなで協力してポストを見つけるのですが、道に迷って何も無い場所を1時間近く歩き続けていたとき、もし自分一人だったらすぐにあきらめてしまったと思います。しかし班員のみんながいたから最後まであきらめずにゴールできたと思うととてもうれしかったです。

そして、学生会ミーティング。初めから団長の先輩方の厳しい注意があり、講堂がしんと静まり返っていて驚いてしまいました。校歌の練習は、バス内とうって変わって厳しくなり、何度歌ってもなかなかステージから降りられなくて一生懸命歌いました。そんな団長達も普段はとても穏やかで優しそうな人でした。

自由時間や夜。私は同じ科でもまだ一度も話したことがない人と話しました。なかなか寝つけずに起きていて注意をされたりしましたが、この人達となら立派な(?)物質工学科を作っていけるなあ実感しました。

この3日間、いろいろな指導を受けましたが、10分前行動ができてよかったと思います。普段の学校生活では、体験できないことや学べないことができて本当に良かったし、先輩方がおっしゃるように忘れられないオリエンテーションになったと思います。



## オリエンテーションに参加して

電気工学科1年 益本 真二

僕は、新入生オリエンテーションに参加して、とてもよかったと思います。なぜなら、たくさんのことを得ることができたからです。

まず一つ目に、大きな声であいさつをすることができるようになりました。今までは、ちょっと照れくささがあり、なかなかできなかったけれど、今回声出しをさせられて、照れくさもいつの間になくなって、きちんとできるようになりました。

二つ目に、たくさんの友達をつくることができました。入学して一度も話したことがなかった友達と仲良くなることができ、すでに仲良くなっていた友達とはさらに仲良くなることができました。また、団体行動を通して、クラスのみならず協力することができ、信頼感が生まれたような気がしました。

しかし、反省することもあります。それは、講話中に少し寝そうになったことです。自分の中では、寝てはいけないと強く思っていたのですが、睡魔に襲われてしまいました。しかし、寝ませんでした。

このように、僕は新入生オリエンテーションに参加してとてもよかったと思います。この研修で得たことを、これからの学校生活に生かしていこうと思っています。また、反省すべき点は、しっかりと反省したいと思います。これからの5年間を充実したものにするために、一生懸命がんばりたいと思います。



## ● 機械工学科 ●

### 4年 機械工学科 銘苅 今日子

初日は横須賀市にある日産自動車を訪見しました。作業ラインに興味津々で見学し、次々に流れていく車体や埠頭に並ぶ車を見ていると不況など信じられないぐらいでした。また、リバイバルプランの成功により、新規採用を再開するなど明るい話題も紹介されました。2日目は沼津市にある東芝機械を訪見しました。卒業生の方が工場案内や質疑応答に対応され、貴重なお話を聴くことができました。3日目は待ちに待った自由研修です。みんな、それぞれの東京を満喫できたことと思います。一番驚いたのは人の多さと電車の数でした。お祭りでもあるかのように人が湧いてきて、電車は5分に1本も来るのに、いつも満員でした。最終日は藤沢市にある日本精工を訪見しました。前日に海外の企業との提携が新聞に載っていましたが、国際的な企業で、向上心にあふれているという印象を受けました。スーツを着ていく研修は今までとは何か違った感じがしましたが、この経験を生かし、これからの進路について十分に考えて、学校生活を送りたいと思います。



## 研修旅

平成13年5月15日

- M...日産自動車(株)追分工場  
日本精工(株)藤沢工場
- E... (株)東芝京浜事業所、NHK
- I... (株)東芝日野工場、日立製作所
- C... 東レ(株)、ダイキン工業(株)、シオノギ製薬(株)根津工場
- A... 海遊館、法隆寺、薬師寺

## ● 電子情報工学科 ●

### 4年 電子情報工学科

私達電子情報工学科4年の40名は、東京へ研修に行きました。初日は、まず(株)東芝日野工場へ行きました。ここでは、携帯電話の構造や働きについて説明していただき、その後、工場でプリント基板の設計から製品の組立に至るまでの製造過程を見学しました。携帯電話は学生にも広く使われており、身近な電子通信機器となっていることもあり、みんなの興味も強く、とてもためになったと思います。

2日目は、東京都江東区にある日立製作所公営後、山梨県の甲府市にある横河電機甲府事業所模について説明がありました。日立グループは、グループであり、驚きを覚えました。あいにく富士山も普段使っている実験器具、測定機器などの製造を見学したこの3社に共通していたのは環境に対する削減を重要視しており、素晴らしかったです。



## ● 電気工学科 ●

### 4年 電気工学科 猿渡 誠貴

僕達電気工学科の行き先は、関東方面で、3ヶ所の見学をしました。今回初めて東京へ行く人も多かったようです。初日はお台場へ行き、歩き回って足が棒になりました。2日目は、東芝とNHKへ行きました。東芝京浜事業所では、僕達電気工学科が実験で使用する電気機器の100倍以上もの容量・大きさの物が作られていて驚きました。NHKには、有明高専卒の先輩がおられ、NHKを選んだ理由や、仕事の内容を聞きました。とてもカッコよく見えました。普通では見られないドラマの撮影を見せていただき、そこで菅野美穂を発見。幸せでした。3日目、自由行動で東京を満喫しました。大牟田との違いに驚きました。最終日、羽田整備工場で飛行機の仕組みを教わり、墜落の不安がなくなりました。普通では得られない知識や体験、そして社会や社会人を仕事という観点から見た僕達は、就職に対する意識が変わりました。この4日間の貴重な体験を、今後に生かしていきたいです。



日(火)～18日(金)

東芝機械(株)本社、  
I K、日本航空(株)羽田整備工場  
製作所、(株)横河電機甲府事業所  
淀川製作所、  
場  
東大寺、神戸異人館

## 物質工学科

4年 物質工学科 寺崎 悠子

私たちは2日間かけて、京都と大阪にある東レ、ダイキン、シオノギ製薬と、3つの会社を訪問しました。東レでは女性のスタッフが多く目につき、詳しいお話を聞くことができました。そこでは、女性も男性も同じ仕事ができるので、つらい反面とてもやりがいがあるとおっしゃっていました。またダイキンでは有明高専の先輩に会うことができ、就職にあたっての心構えを細かく指導していただき勉強することの大切さを改めて感じました。またシオノギ製薬では薬品の管理と環境への配慮の徹底ぶりに驚かされるばかりでした。この3つの会社を見て私が共通に思うことがあります。それは自分が何か職に就いたときに果たしてこんなふうな、誰かのために役立つことができるのだろうか、という不安です。社会人になることへの重大な責任感を痛感した研修でした。

## 工学科

科 中山 英明



共システム事業部を見学し、船の科学館で昼食へ行きました。日立では、会社の事業内容や様々な分野に展開している大規模な企業グループは見れませんでした。横河電機では、私達を見学することができました。初日と2日目で配慮です。3社ともリサイクルや汚染物質。私達も将来は環境のことを考えられる技術者ならなければいけないと思いました。3日目は各自で自主研修を楽しみました。最終日は、多摩にあるJTB情報システムへ行きました。JTBでは、旅行の予約管理などを行う「RIF」とよばれる基幹システムをコンピューター管理しており、その「TRIPS」の開発や運用を行っているところを見ることができました。今回4社の研修で学んだことを今後の勉強や就に役立てていきたいと思ひます。



## 建築学科

4年 建築学科 山下 麻凡

「百聞は一見にしかず」今回の研修旅行に最も相応しい言葉です。世界最古の木造建築とうたわれ、千年以上の歴史を築き続ける法隆寺、白鳳様式の姿を今に伝える東塔と、復元された西塔という二つの塔が立ち並ぶ薬師寺、過去2度の焼き打ちに合い、現存しているものは当時の3分の2と縮小されながらも、その巨大さが一際目立つ東大寺大仏殿など、日本を代表する伝統的な建築物を肌で感じる事ができた喜びは、建築学を学んでいる私達にとって、これから先の大きな心の糧となることでしょう。また、スケールの違いを痛感した旅でもありました。特に東大寺大仏殿の大きさは目を見張るものがあり、その迫力にはただただ圧倒されるばかりでした。文字と写真だけでは感じ取れない感動が、そこにはいくつも存

在していました。授業で学んだ知識を一つ一つ確認していきながら、見学するとまた違った味わいが発見できました。今回私達は刻まれ続ける深く長い歴史の中に、ほんの少ししか足を踏み入れていないけれども、木が繰り広げる日本の伝統的な木造建築のすばらしさや奥深さを感じると共に、自分の瞳で見ることの大切さを学びました。

最終日に行った神戸の異人館では、それまで見てきた社寺建築とは全く異なった造りが新鮮で、まだ授業でも学んでいないため、先入観なしで見ることができ、自分なりに、社寺建築との相違点を見付けてみたりと新しい発見の連続でした。

今回の研修旅行では、本物と想像のあまりのギャップに驚かせられながらも、また一段と建築のすばらしさを実感し、充実した日々を過ごせました。



# 混合学級になって

今年度から、2学年のみの混合学級制がスタートしました。2年生に、各学科の学生が混在したクラスで一ヶ月余りを過ごしてみても感想を聞いてみました。この制度に懐疑的なものも若干ありましたが、おおむね次のような感想でした。

## 2年1組(E) 田中さやか

1年生のとき、クラスには女子がたったの2人でしたが、混合クラスになって、女子が10名以上に増え友達の幅も広まったので、とても嬉しく思っています。

このクラスでの最初で最後の研修旅行も、とても印象深く、今までの体験で一番思い出に残る旅行になりました。

他の学科の人たちと、同じ教室で同じ授業を受けたり、また話をするごとに、最初はとても不思議な感じがしましたが、この1ヶ月の生活で、それがとても居心地よい感じに変わり、学校が楽しくなりつつあります。

## 2年2組(I) 長塚 由紀

少しずつ慣れ始めていた学科別クラスから混合学級になって、いい意味で緊張感があるなと思いました。また、今まで全然知らなかった他の学科の人たちと知り合いになれたのでよかったです。

その反面、学科毎の専門科目はやりにくくなったと思います。

いい面も悪い面もありますが、3年に上がる時、「2年生は楽しかったな」と思えたらいいなと思います。

## 2年3組(M) 板橋 沙愛

混合学級になって、1年のときとクラスの雰囲気が違うので、最初は戸惑うこともありましたが、慣れてくると、他の学科の人とも友達になれて、(その学科の)知らないことも知りました。

クラスがすごく新鮮に感じられます。

混合学級になったおかげで、他の学科の人たちと友達になれましたし、専門の教科とか、その学科でしかわからないことを聞けました。

いろいろなことを吸収して、これから勉強の幅を広げたり、役立てたりしたいと思います。

## 2年4組(A) 西川 秀一

私は、混合学級になって他の学科の人と仲良くなれたし、1年生のときとまた違った雰囲気なので新たな気持ちで2年生を過ごしています。

混合学級になって専門科目のときが(教室移動等で)少し大変になったのと、1年生のときの友達と会う機会が少なくなったことが少し残念でした。

また、いろいろな面で競い合うことが多くなったので、1年生の時以上にがんばらないといけないなと思うようになりました。

これから1年間、初心を忘れずにがんばりたいです。

## 2年5組(C) 嶋田 明香

混合学級になり、違う学科の人たちと同じクラスになったことで、その人達と仲良くなれたことはよかったと思います。しかし、一人一人の学習等のレベルの差が、前のクラスよりも大きいので、授業内容をわかった人とわからない人が出てきて、困るなあと思います。

でも、せっかく同じクラスになったので、1年間という短い期間だけど、多くの人と仲良くなりたいし、勉強もしっかりがんばりたいです。

## 追悼

去る4月17日、2年5組(A)太田慎二君が、バイク事故のために亡くなりました。

新しいクラスでの学校生活が始まったばかりのときに、残念でなりません。心よりご冥福をお祈りいたします。

合掌



## 新入生歓迎行事

去る4月16日(月)に新入生歓迎行事が行われました。高専生活を過ごす上で、同じ学科の先輩・先生方とのつながりは非常に重要なことです。自分をしっかりアピールできた人、できなかった人がいたと思います。

新しくこの有明高専を盛り上げていく若い力として、日々の活動において努力を惜しまず、これからの5年間で自分にとって有意義なものとなるように各個人が目標を持ち、それを達成できるようにがんばってください。

(学生会会長 5M 梶原 理宏)



## キャンパスクリーンデー

去る5月22日(火)、キャンパスクリーンデーによる全校一斉清掃作業が行われました。今回からは、全学生・全教職員に加えて、専攻科一期生も参加し、午後から清掃作業に汗を流しました。4月からの機械工学科、物質工学科の校舎改修工事のため、通常の出担区域が一部変更されて行われましたが、校舎および校内がさっぱりとし、初夏を迎える準備ができました。

それまで10日近く晴天が続き、地面が乾いていましたが、クリーンデー前日の雨でほどよく湿り、作業は曇り空でスタート、終了時に薄日といった絶好の日和となりました。平成4年以降10年目を迎え、作業の要領が良くなったこともあって、約2時間ほどの作業で校内が見違えるほどきれいになりました。次回は9月3日に予定されています。

(教務主事補 永守 知見)



## 春季球技大会

5月31日(木)に行われた球技大会は、前日の雨のため残念ながら雨天時の種目となりましたが、心配していた進行の方は順調に進み、どの種目も大いに盛り上がっていました。特にバレーでは、この日のために練習を積んだクラスも多く、悲願の決勝進出を果たしたクラス、惜しくも敗れたクラスなど様々でしたが、どのクラスも一つとなって頑張っていました。最優秀クラスとなった5M、優秀クラスとなった5Cには、強い団結力を感じました。すべてのクラスにとって、いい思い出ができたと思います。

最後に運営にあたって、準備を手伝っていただいた学生係の方、1年生、当日一日審判をしていただいた各部活の方々、ありがとうございました。

(体育局長 5A 田川 裕佳)



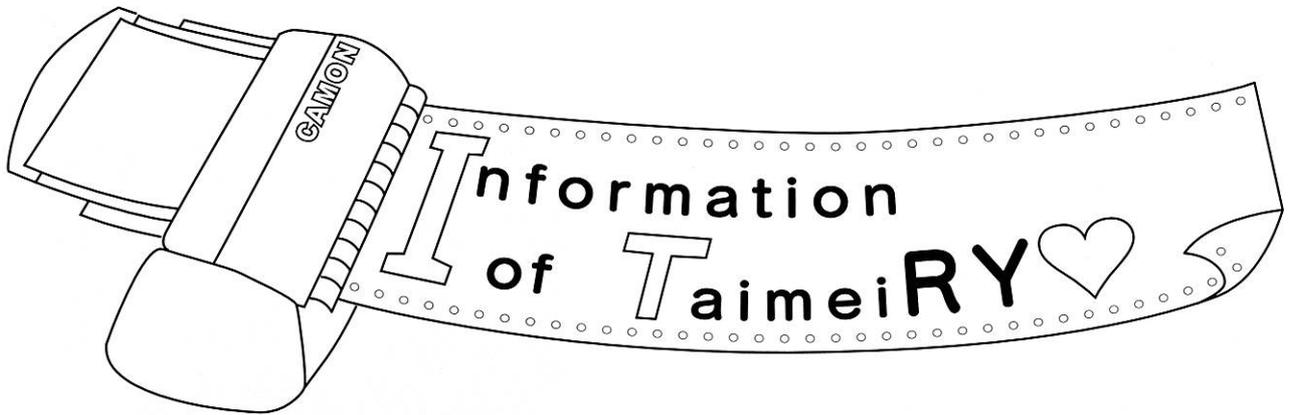
### 春季球技大会成績

最優秀クラス 5M

優秀クラス 5C

種目	優勝	MVP
卓球	5C	廣松 孝浩
女子バレーボール	3A	赤司久美子
男子バレーボールA	5M	満永 順一
男子バレーボールB	4M	立石 龍弘





## ブルース リーダー研修 in KANPO

4月5日(木)・6日(金)、本年も柳川かんぽの宿で寮生指導者研修を行った。寮生会役員と寮スタッフで、これからの寮運営についてじっくり時間をかけて協議し、各自自分のやるべき事を確認するとともに、指導者としての認識を深めることができた。

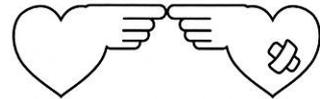


識を深めることができた。

◀かんぽの宿玄関前にて

## 21世紀初重点目標

今年度の岱明寮重点目標が、寮長、梶原君の発案により以下のように決定した。



Heart to Heart

## New face IN T.R.Y♡

●入寮式 4/10(火) 12:00~

男子 39 名、女子 15 名の新入生および 3 名の編入生（留学生 1 名）を新たに迎えて入寮式を視聴覚教室で行なった。初めての寮生活に対する希望と不安を胸に全員元気よく新生活のスタートを切った。

●歓迎夕食会 4/12(木) 17:30~

関係の先生方の同席を得て、新入寮生の歓迎夕食会が食堂で行われた。校長先生の歓迎の言葉の後、新人寮生の元気な自己紹介があり、雰囲気も和やかになって無事終了した。

●歓迎球技大会 4/20(金) 8:30~

さわやかな好天に恵まれ、恒例の歓迎球技大会が行われた。出身地別にチームを作り、ソフトボール、卓球、バレーの各球技に熱戦が繰り広げられた。競技を通して新入寮生と先輩寮生との親睦も深まったようである。

## 食堂 R enewal OPEN!!

最近食堂が急速に快適になってきた。床の全面張替えに始まり、不用物の撤去、出入口のサッシ取替えとたたきの打ち直し、エントランスの屋根取付けおよびテーブルといすの入れ替えが実施され、見違えるように明るく Renewal された。明るい雰囲気での楽しい食事こそ健康の源である。この快適な環境をずっと維持できるよう努力したい。



▲新テーブルといす

▼食堂入口



スタート

11:05



DELLAN



## 送辞

在校生代表 梶原 理宏

厳しかった冬の寒さも、今では心地よい春の暖かさへと変わり、新しい生命で溢れています。そして、ここにもそれに負けんばかりに、力強く生きていこうとされる先輩方がいます。

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。今日という日は、5年間の高専生活においては終着駅と言えるでしょう。しかし、人生という長いレールの上ではただの通過点に過ぎません。これまでの自分を振り返ってみてください。勝利という目標に向かって人一倍汗を流したクラブ活動、クラスが一つに団結し日夜練習した球技大会、学科としての誇りを持ち、後輩達とつくりあげた高専祭・体育祭、自分をここまで育ててくれた両親・先生方、そして、苦しみ・悲しみ・喜び・感動を分かち合った仲間たちを思い出すのではないのでしょうか。学年が進むにつれ私たちとも日に日に接することが多くなり、学ぶこともたくさんありました。そして、先輩方が受け継いできた意志を今度は私たちが受け継ぐ番です。この責任の重さに潰されそうになります。不安になります。でも、私たちは一人ではありません。友や後輩たちと一つとなり、この有明高専を担っていく覚悟です。

今まで5年間、何もかもが当たり前だった生活が当たり前でなくなってしまう。8時50分に授業を始めるチャイムの音も、くだらない話で盛り上がった友達との会話も、全てが今日という日を境に変わってしまいます。これからは、自分の目標に向かって敷かれているレールの上を走るのではなく、自分が得た経験・力を信じて、道を切り開いていかなければならないのです。

青春時代を共に駆け抜けていった先輩方との別れは寂しく思いますが、それ以上に感謝の気持ちでいっぱいです。この有明高専を進むべく方向へと先導して下さった先輩方、「本当にお疲れ様でした。」そして、これからの道に幸多からんことを願い、在校生を代表しお祝いのあいさつといたします。

「今までありがとうございました。」

## 答辞

卒業生代表 森田 豊美

草木も芽吹き、春の訪れを感じる今日、私たちは晴れて卒業式を迎えることができました。

校長先生の告辞、来賓の方々のご祝辞や後輩からの温かいお祝いと激励の言葉をいただき、多くの方々に支えられ勇気づけられてきたことを実感すると同時に別れの寂しさを感じています。

5年前、私たちはそれぞれの想いを胸にここに有明高専に入学しました。3年生までは初めてのことも多く、戸惑いながらもいろんなことに興味を持ち過ごしていたように思います。4年生になり、将来について本格的に考えるようになりました。進路についての話題が増えたのもこのころでした。そして5年生、進路が決まりみんなと一緒に過ごす時間もわずかなのだと考えるようになりました。今日までの5年間はとても短く、しかし充実した時間でした。

授業や部活動、体育祭、高専祭などの学校行事、あるいは地域の活動を通して、たくさんの人との出会いがありました。出会いのたびに様々な経験を積み、成長してきたと思います。

その中でも友との出会いは特別で、同じ目標を持つ者の存在はとても大きなものでした。落ち込んだときは励まし合い、嬉しいときは喜びを分かち合う。一人ではできないことも、友と一緒にならできる、やってみようと、常に前向きな姿勢になることができました。高専での生活で、友の存在の大きさをあらためて実感し、一つ一つの出会いの大切さを学びました。

学生生活を通して経験し、学んだことは一人一人違うでしょうが、必ずこれからの支えになり、役立つことだと信じています。

今日で有明高専を卒業し、それぞれが新しい舞台へと旅立つわけですが、多くの試練が私たちの前に立ちほだかることでしょうか。しかしそれに負けず、自分の信念を持って新しい時代を切り開いていく覚悟です。今の夢を抱く心、希望に満ちているこの初心を忘れず、前を向いて常に精進してまいります。どうか今後ともご指導をいただきますようお願いいたします。

最後に、私たちを導いて下さった校長先生はじめ教職員の皆様、共に歩み力になってくれた在校生の皆さん、私たちの成長を見守りつづけ常に味方となって下さった保護者の皆様に感謝の意を述べ、答辞といたします。

# 卒業生

## 進路

機械工学科	電気工学科	電子情報工学科	物質工学科	建築学科
ユニタック(株) 第一精工(株) 大成建設(株) 九州松下電器(株) (株)電気ビル セイレイ工業(株) トヨタ自動車(株) (株)ジャパンアウトソーシング 京セラ ミタ(株) 日本空港動力(株) トステム(株) 旭精機工業(株) (株)GATHER 大豊工業(株) (株)テクモ (株)ニチゾウテック 三菱重工機名古屋航空宇宙システム製作所 ムラテック販売(株) (株)森精機製作所 有明高専専攻科 鹿児島高専専攻科 熊本大学 九州大学 山口大学 九州工業大学 豊橋技術科学大学 九州デザイナー学院	キヤノンS&S九州(株) 日本放送協会 (株)安川電機 ドコモエンジニアリング九州(株) 九州電力(株) 福岡道路エンジニアリング(株) (株)西日本警備保障 (株)サン電工社 (株)日鉄エレックス 福岡空港ビルディング(株) (株)T S G (株)日立エンジニアリングサービス (株)エム・イー 三菱電機ビルテクノサービス(株) (株)荏原九州 N E C フィールドイング(株) (株)N H K テクニカルサービス 京セラ(株)鹿児島川内工場 トヨタ自動車(株) 中部電力(株) 第一精工(株) ウェスト電気(株) (株)日立メディコ (株)ディ・エス・テック関西 (株)エージーピー N E C インフロンティア(株) 有明高専専攻科 熊本大学	(株)オートメーション・テクノロジー 富士ソフトA B C(株) (株)シーズ・ラボ北九州開発センター 大信情報システム(株) (株)インフォグラム 大和コンサル(株) (株)サンテック (株)パワークロス ドコモエンジニアリング九州(株) E S 東芝エンジニアリング(株) (株)アルファシステムズ ホシザキ四国(株) (株)富士通ビジネスシステム ニチゾウ有明設計(株) (株)リコー (株)リード・レックス 荒尾市役所 日信電子サービス(株) (株)ティエスティ 道路通信エンジニア(株) (株)ベンチャーセーフネット (株)K S D 有明システム(株) 有明高専専攻科 熊本大学 九州大谷短期大学	黒肥地工業(株) 精巧印刷(株) (株)富士通九州システムエンジニアリング ユニチカ(株) 小川香料(株) 三菱ガス化学(株) ダイキン工業(株) 大日本インキ化学工業(株) 日本触媒(株) 大日精化工業(株) 中外製薬(株) 三西開発(株) 京セラ(株) 東レ(株) 有明高専専攻科 熊本大学 佐賀大学 九州工業大学 長岡技術科学大学	(株)日新建設工業所 (株)吉田住建 (株)福岡構造 (株)久栄総合コンサルタント 都市環境衛生 (株)緑建築積算事務所 山本設備工業(株) 西部ガス(株) 九鉄工業(株) 川崎建築構造設計事務所 北九州市役所 (株)九州積算 九州旅客鉄道(株) (株)田中建設 東京ガス(株) 住友不動産(株) 西松建設(株) 佐藤工業(株) YKKアーキテクチュラルプロダクツ(株) 有明高専専攻科 熊本大学 大分大学 九州芸術工科大学 千葉大学 豊橋技術科学大学

## 表彰

### 成績優秀者

M 笠原 孝高      E 森田 豊美      I 加藤 聡      C 堀川 真希      A 小宮 智華

### 学会賞

M 木下 博 (日本機械学会) 富山賞      E 古賀 剛 (電気学会) 九州支部長賞      I 田中まゆみ (電子情報通信学会) 九州支部長賞      C 川内美奈子 (日本化学会) 九州支部長賞      A 小宮 智華 (日本建築学会) 九州支部長賞

### 5年間皆勤賞

(卒業に至るまで、授業・SHRとも欠席、欠課、遅刻及び早退が皆無の者)

M 狩野 佑介      M 河野 恵郷      M 中村 圭吾      M 藤嶋 直之      M 邊春 聡男      E 田川 武史  
 E 筒井 仁紀      E 山下 努      I 野田 義朗      I 松尾 隆司      A 田中 紀子      A 畑 香織

### 5年間精勤賞

(卒業に至るまで、授業の欠席日数が5日以内で、かつ、SHRの欠課あるいは遅刻が30回以内の者)

M 井上 精史      M 江口 和樹      M 大澤 浩之      M 大津山賢一      M 嘉悦 大地      M 笠原 孝高  
 M 金澤 智史      M 木下 博      M 佐田 崇      M 篠崎 烈      M 蓑田 智史      E 古賀 剛  
 E 古賀 裕規      E 高井 賢      E 高木 昭徳      E 寺井 達哉      E 中山 昭仁      E 久岡 貞弘  
 E 森田 豊美      E 山内絵美子      I 磯田 大輔      I 板橋 明智      I 加藤 聡      I 古賀 大吾  
 I 平川 理江      I 藤木 和幸      C 川内美奈子      C 阪井 努      C 田川 裕美      C 徳永 和明  
 C 西田 智美      C 山田 佳代      A 柴山 豊      A 中尾明日美      A 村田 直高      A 安田 佳代

# 学生表彰

1年間 皆勤賞・精勤賞 ( ) 内の数は精勤者数

1 M 23 (6)	井上原口裕介 内坂哲雄 柿越秀太 川崎圭裕 原隆丸 北原政輝 五郎一史 佐藤祐幸 篠田幸史 下川中一 田本弘晃 塚木正剛 鶴野裕 轟中西優 中野智博 深丸達夫 三浦亮夫 山村夫	1 I	塚崎由紀 野和綾 野藤恵 松宮俊 宮村智 森横一 尾勇助	1 A	山吉瞳 吉富織 千恵	2 A 12 (6)	入江碧 上田介 清谷鈴 熊田亮 戸田敏 廣畑章 福山佳 古田一 松岡浩 本村佳 柳元香 元智也	3 A 4 (2)	清田智 黒山佳 山下凡	4 M 11 (6)	井寺亮 今任渉 甲斐嗣 新斐史 田開也 堤上起 中原翔 東田二 水田樹 満永一	4 E 9 (5)	釜田康 古閑康 近藤靖 川藤健 古賀隼 近新洋 西庄信 古江宏 陽光	4 I 4 (5)	小林達 猿渡久 竹鹿敏	4 C 2 (2)	奥武孝 武俊	4 A 6 (6)	神谷晋 久留見 古賀友 近藤美 中原司 口智 子舞										
		1 E 15 (10)	片山光 刈屋浩 北園優 木山下拓 瀧中さ 田中憲 都甲二 中西治 西平剛 平川介 藤江将 藤山作 吉丸大	1 C 22 (9)	伊藤真 今泉美 浦野洋 太田翔 加藤隆 兼武裕 古小正 境坂直 嶋水明 嶋志子 白菅香 立堤野 松松美 武山佳 山吉奈	2 E 12 (5)	井形優 河内男 志水博 陣内幸 武翔 塚亮 堤一 塚聖 徳健 宮智 山利	3 M 7 (4)	足立崇 大石章 加藤久 古賀夫 前川平 松藤大	4 E 9 (5)	釜田康 古閑康 近藤靖 川藤健 古賀隼 近新洋 西庄信 古江宏 陽光	3 E 6 (7)	橋本貴 森聡 山峰 山邦 山友 野琢	3 I 5 (5)	後藤武 田直 堤拓 中香 山英	3 C 12 (4)	倉山佳 大小希 岸本雅 古詩 佐彰 立卓 寺悠 仲貴 山美 横栄 渡通 宏	2 I 7 (12)	塩塚聡 四ヶ菜 田所景 谷崎一 橋本徳 山邊一	3 I 5 (5)	後藤武 田直 堤拓 中香 山英	2 C 12 (4)	石橋子 伊藤幸 岡方奈 黒部里 平川裕 藤川二 徳有苗 平有子 森野美 山下男 山奈	2 I 7 (12)	塩塚聡 四ヶ菜 田所景 谷崎一 橋本徳 山邊一	3 I 5 (5)	後藤武 田直 堤拓 中香 山英	2 C 12 (4)	石橋子 伊藤幸 岡方奈 黒部里 平川裕 藤川二 徳有苗 平有子 森野美 山下男 山奈
		1 I 16 (9)	荒岡聡 河野直 釘野貴 古賀綾 菅原和美	1 A 17 (12)	石橋拓 伊藤真 緒方美 阪里香 佐高望 西昌 箱東秀 東福昌 溝上田 宮津田 矢山佳	2 I 7 (12)	塩塚聡 四ヶ菜 田所景 谷崎一 橋本徳 山邊一	3 I 5 (5)	後藤武 田直 堤拓 中香 山英	2 I 7 (12)	塩塚聡 四ヶ菜 田所景 谷崎一 橋本徳 山邊一	3 I 5 (5)	後藤武 田直 堤拓 中香 山英	2 I 7 (12)	塩塚聡 四ヶ菜 田所景 谷崎一 橋本徳 山邊一	3 I 5 (5)	後藤武 田直 堤拓 中香 山英	2 I 7 (12)	塩塚聡 四ヶ菜 田所景 谷崎一 橋本徳 山邊一	3 I 5 (5)	後藤武 田直 堤拓 中香 山英								

## 平成12年度 第3回 実用英語検定試験合格者

本校は、一昨年に続き昨年度も、日本英語検定協会から奨励賞を受賞しました。これは、実用英検に積極的に取り組み、教育の一環として実用英検を意欲的に活用した団体に与えられる賞です。

なお、英検準2級合格者数は、昨年度は、一昨年の75名から91名に増えました。本年度も学生諸君がさらに一層、英検にチャレンジすることを期待します。

2 級	2 I	西山 絵里子
準2級	1 C	松本 有希
	2 E	大山 桂
	2 I	新納 公香
	2 C	古庄 武史
	2 A	清田 美鈴
	2 A	米田 智恵子
	3 I	田畑 大成
3 級	1 M	橋本 博文
	2 M	井手口 弘樹
	2 E	中嶋 愛
	2 I	野田 あゆみ
	2 C	森 真裕
	2 A	楠 理恵
	3 E	田中 恵祐
3 I	中島 健二	
2 M	江口 剛	
2 E	西田 衣里	
2 I	野田 優一朗	
2 C	山下 英男	
2 A	楠田 飛鳥	
3 E	吉谷 友輔	
3 C	窪田 奈美	
2 M	田嶋 大輔	
2 I	風間 亜由美	
2 I	福永 隆幸	
2 A	石井 亜由子	
2 A	小宮 麻美	
3 E	坂本 政徳	
3 A	小川 智子	
2 M	中山 真悟	
2 I	渡邊 一徳	
2 I	萬矢 真弓	
2 A	井手口 武史	
2 A	高柳 七子	
3 E	森 聡之	
3 A	染岡 雅明	
2 M	野中 裕美	
2 I	古賀 隆博	
2 C	徳田 早苗	
2 A	井村 征洋	
2 A	山本 啓聰	
3 I	古賀 聡	
3 A	三山 容弘	

# ☆☆☆トピックス☆☆☆



▲卒業式



▲入学式 ▼入寮式



▲新入寮生歓迎夕食会 ▼寮生球技大会



▲春の友夢創家



▼キャンパスクリーンデー



▲▼春季球技大会



## 編集後記

専攻科設置、混合学級スタートと有明高专では着々と教育の充実が図られています。どちらもスタートしたばかりですが、この号で取り上げてみました。

校長だよりの内容はわれわれに大きな希望を与えてくれます。週3回の有酸素運動によって高齢者でも記憶力が改善されたという最新の研究結果や、仲間とともに暮らすマウスは一匹でいるマウスより神経細胞の再生頻度が上昇するという研究報告もあります。環境因子の作用は予想以上に大きいようです。友達と積極的に交流し、部活の運動で汗を流し、自宅では集中した勉強を継続することによってソフト・ハード両面で頭脳改造ができるかも知れません。皆でチャレンジしましょう。

有明高专だよりの 第104号

平成13年6月21日発行

編集：有明高专広報委員会

発行：有明工業高等専門学校

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-8861 (学生課)

<http://www.ariake-nct.ac.jp/>